

「生きる！を支える」講演会

作家／東京家政大学女性未来研究所特任教授

落合恵子さん講演会

“生きる”をつなぐ
～老いに寄り添い、いのちを学ぶ～

こうして家族は、目の前にいる愛しいひとの
「老いのいま」を必死に理解しようとし、
そのひとの「あるがまま」を丸ごと受け入れようとする。
介護の毎日は、そこから始まり、そこに終わる。

「母に歌う子守唄 わたしの介護日誌」(朝日新聞社)より

平成29年 **1月9日** (月・祝)

13:30～15:00 (開場／受付 13:00)

会場

静岡県コンベンションアーツセンター
「グランシップ」11階 会議ホール・風

申込方法

静岡市コールセンターへお電話ください。
TEL 054-200-4894 (詳細は裏面をご覧ください。)

入場無料
定員400名
(要申込・先着順)

共催：静岡市こころの健康センター／社会福祉法人 静岡いのちの電話
問合せ先：静岡市こころの健康センター (TEL 054-262-3011 FAX 054-262-3060)

講師紹介

1945年 栃木県宇都宮市生まれ。

株式会社文化放送アナウンサーを経て、文筆業に。

執筆と並行して、東京表参道、大阪江坂で子どもの本の専門店「クレヨンハウス」、女性の本の専門店「ミズ・クレヨンハウス」、オーガニックレストラン、安全な玩具のフロアなどを主宰。2016年「クレヨンハウス」は、創立40周年。総合育児雑誌「月刊クーヨン」、オーガニックマガジン「いいね」発行人。

高齢者と子どもが共に読める『落語絵本』（クレヨンハウス）のシリーズは100万部突破。

翻訳書『子どもたちの戦争』（講談社）では、産経児童出版文化賞受賞。他、受賞歴多数。

生き急ぐ10代の若者に向けてのメッセージ集『崖っぷちに立つあなたへ』（岩波書店）は、教育の現場でも使われている。

7年にわたり在宅で母親を介護した記録『母に歌う子守唄 わたしの介護日誌』、『母に歌う子守唄 その後 わたしの介護日誌』（朝日新聞社）は、介護の社会化に向けての原動力に。

他、週刊誌、新聞等の連載、番組の構成、出演多数。

人権に関しては、法務省、全国人権擁護委員連合会主催「全国中学生人権作文コンテスト」の中央大会審査会の座長を長年つとめる。

【主な著書等】

『自分を抱きしめてあげたい日に』（集英社）

『絵本処方箋』（朝日新聞社）

『「わたし」は「わたし」になっていく』（東京新聞出版部）

『質問 老いることはイヤですか？』（朝日新聞社）

子ども、高齢者、女性、社会が「障がい」と呼ぶものがあるひとなど、社会構造的に「声の小さい側の声」をテーマにした作品多数。

定員

400名（先着順）

※定員になり次第しめきりとなります。

申込方法

静岡市コールセンターへ
お電話ください。

054-200-4894

（年中無休、午前8時から午後8時まで）

平成28年11月9日（水）から
12月9日（金）までに
お申し込みください。

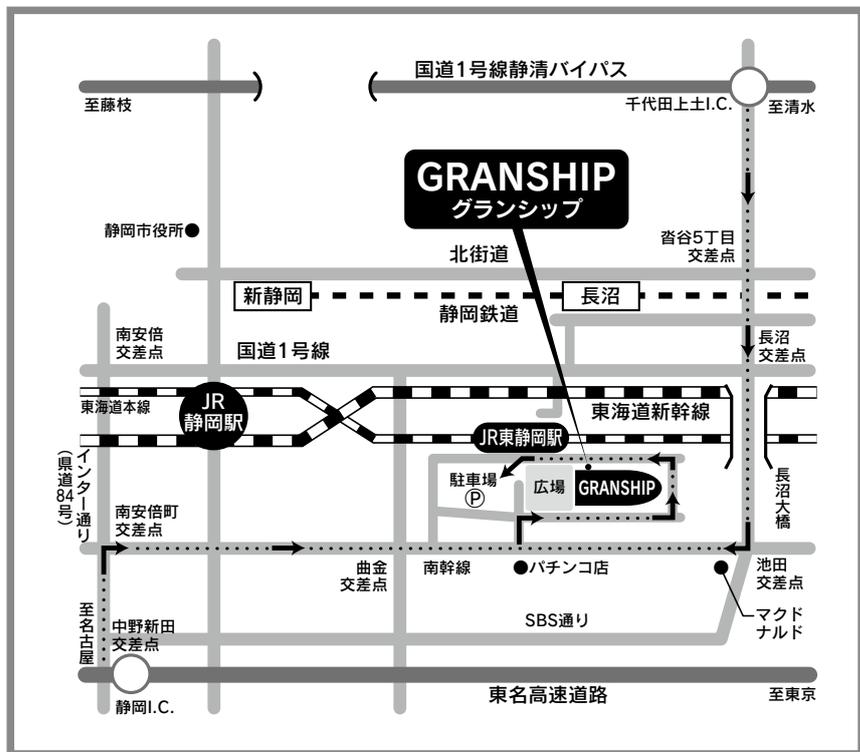
入場券は12月22日（木）頃発送いたしますので、
講演会当日に必ずお持ちください。

お申し込みの際は、

- ①氏名
 - ②住所
 - ③電話番号
 - ④年齢（年代）
 - ⑤その他（車いす席の利用を希望される方）
- をお知らせください。

会場アクセス

グランシップ [駿河区池田79-4]



- JR 東静岡駅南口より徒歩 3分
- 静鉄電車 長沼駅南口より徒歩10分
- 駐車場はございますが、催事によって満車となる場合がございますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

お預かりした個人情報、静岡市こころの健康センターにて責任をもって管理し、今回の講演会の企画・運営のみに使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。